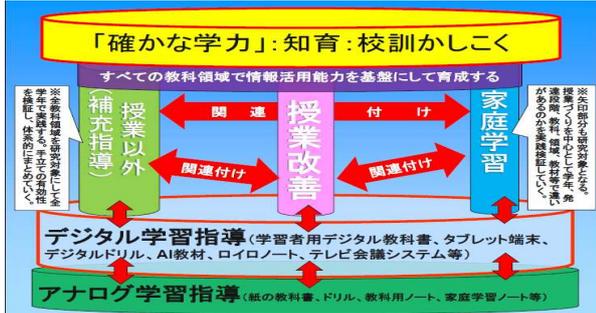


令和4年度 学力向上全体構想

鹿児島市立星峯西小学校



アナログ学習指導とデジタル学習指導の融合

- ・ 日々の授業実践とその共有
- ・ 職員研修の推進 (指導力の向上)
- ・ 学力向上委員会の運営、データに基づいたID学習指導 (Inport data)
- ・ 家庭教育力アップ共通実践事項

実態把握と対策, わかる・できる・考える授業改善, ベーシックタイム, 補充指導, 家庭学習

定期的な実態把握と分析
検討に基づく具体策立案

- 学力検査の実施と事後指導
- 学力検査の結果分析と対策
- 個人カルテの作成と記入
- 諸検査, アンケートの実施と分析, 対策
 - ・ 漢字テスト
 - ・ 計算力テスト
 - ・ かけ算九九
 - ・ 読書状況調査
 - ・ 家庭での生活実態調査 (生活リズム, 宅習時間等)

【本校の授業充実策】

- 校内研修における授業づくりの充実
 - * タブレット端末を活用した授業実践
 - (1) 見通しある研修計画の立案
 - ・ テーマ研究 (ICT教育)
 - ・ 初任研等の研修
 - (2) 授業前後の検討
 - 【指導案検討前の授業構想】
 - ↓ * 40日前
 - 【全体での指導案検討】
 - ↓ * 設定日
 - 【研究授業】
 - ↓ * 設定日
 - 【授業研究】*ワークショップ型
 - * 重点: 知識・技能の習熟
 - * 思考・判断・表現力の育成
- 校内研修における教員一人一人の持ち味や専門性を生かす研修の設定→全職員へ還元, 共有
 - ・ 絵画, 作文指導力の向上
 - ・ 理科, 社会科作品の応募
- 共通理解と共通実践
 - ・ チーム星峯西小としての一貫指導 (チームワーク・チームプレイ)

「確かな学力」を育成する
授業の創造, 指導力の向上

- 授業充実の3ポイント
 - ① 目標の明確化
 - ② 山場の工夫
 - ③ 確かな見届け・まとめ
- 分かる授業5つの条件
 - ① 教材研究の徹底
 - ② 定着の把握
 - ③ 反復学習の徹底
 - ④ 教具の活用
 - ⑤ 個に応じた指導
- 課題解決学習の推進
 - ① 学習問題の設定
 - ② 学習の予想・見通し・方法の設定
 - ③ 学習活動の工夫
 - ④ 学習形態の工夫
 - * 主体的・対話的で深い学び→考える内容を想定した「学び合い」の設定
 - ⑤ 学習の場の工夫
 - ⑥ 教材・教具の工夫
 - ⑦ 指示・発問の工夫
 - ⑧ 構造的な板書
- 指導と評価の一体化
 - ① 評価規準の設定
 - ② 評価方法の工夫
- 学業指導の充実
 - ① 学習のしつけ(挙手, 話す, 聞く, 書く姿勢等)
 - ② 発表力の育成 (系統的な発表話型の活用)
 - ③ 学習内容が一目で分かる構造的な板書とノート
 - * 学び合いの仕方の系統的な指導
- 体験学習の推進
- 指導体制の工夫改善
 - ① 専科指導・管理職のTT
 - ② デジタルドリルの活用

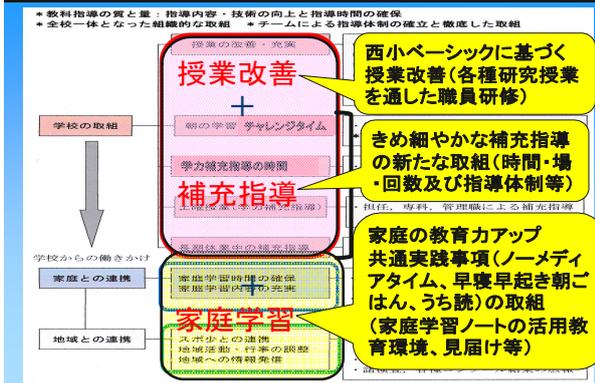
読み・書き・計算など
「基礎・基本」の徹底

- 読み**
- ◎ 教材文がすらすら読める
 - ・ 授業時間の音読活動
 - ・ 音読放送の充実
 - ◎ 着眼点を持たせた読み方
 - ・ 読書タイム
 - ・ 家庭でのうち読
- 読書活動**
- 年間目標冊数の達成
 - 低 100冊
 - 中 80冊
 - 高 60冊
 - ・ 読書タイムの活動充実
 - ・ 読書旬間の取組
- 書き**
- ◎ 漢字の読みと書き
 - * 新出漢字の指導時間確保
 - ・ ベーシックタイムの運用 (週2回)
 - ・ 漢字テストの実施
 - ・ 文法、ローマ字等
 - 速写力の育成
 - 計算力及び定義等の理解
 - 正しく・速く
 - ・ 計算力テストの実施
 - ・ 宅習課題(自主課題)
 - * 算数科の知識・理解事項(定義等)の定着
 - ◎ 土曜授業(チャレンジタイム)や学力補充の時間の確保

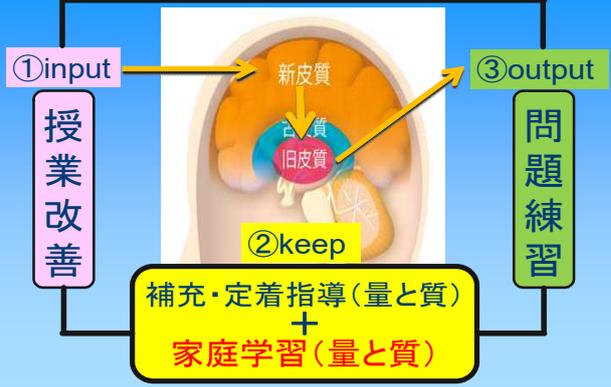
家庭・地域との連携

- ◎ 家庭での学習習慣の確立
 - ・ ノーメディアタイムの充実 (家庭学習目安時間の確保)
 - ・ 早寝早起き朝ごはん運動
- ◎ 自作の家庭学習ノート (漢字, 日記, 宅習3点セットの継続)

R4年度 P:計画 学力向上全体構想(具体策)



学力定着のプロセス(※①②③すべてがそろう)



*教科指導の質と量：指導内容・技術の向上と指導時間の確保

*全校一体となった組織的な取組 *チームによる指導体制の確立と徹底した取組

*家庭学習の量と質：学習時間及び目安時間の達成率の定期的な実態把握、個に応じた課題

